

平成
20年度
予算

総額で 約443億円を計上

本市の平成20年度当初予算は、総額で443億2836万円、内訳は、一般会計179億7400万円、特別会計156億2613万円、企業会計107億2823万円です。

前年度当初予算と比較しますと、一般会計で0.7%増となっております（前年度当初予算が骨格予算のため、肉付け後の6月補正予算と比較しますと、0.4%減となります）。

歳入では、市民税を、納税義務者の減少などにより、前年度比0.1%減の約33億円とする一方、固定資産税については、地価の下落による土地の課税標準額の変更と、新築家屋の増加などを勘案し、前年度比0.9%増の約31億円とし、市税の総額としては、前年度比0.7%増の約73億6千万円となりました。また、地方交付税については、都市と地方の税収偏在の是正などにより、前年度比3.9%増の39億5千万円となりました。

歳出では、財源の効率的な配分に心掛け、子育て支援対策、美濃焼振興事業、防災対策事業などを新たに盛り込むなど、必要不可欠な事業に重点的な予算配分を行いました。

具体的には、中学3年生までの通院時医療費保険適用分の自己負担無料化を実施するほか、美濃焼デザイン振興事業、橋梁耐震補強工事などを新たに行います。

また、国の制度変更に伴い、老人保健制度に代わり、後期高齢者医療制度が4月から始まることにより、後期高齢者医療保険特別会計を新たに設置しました。

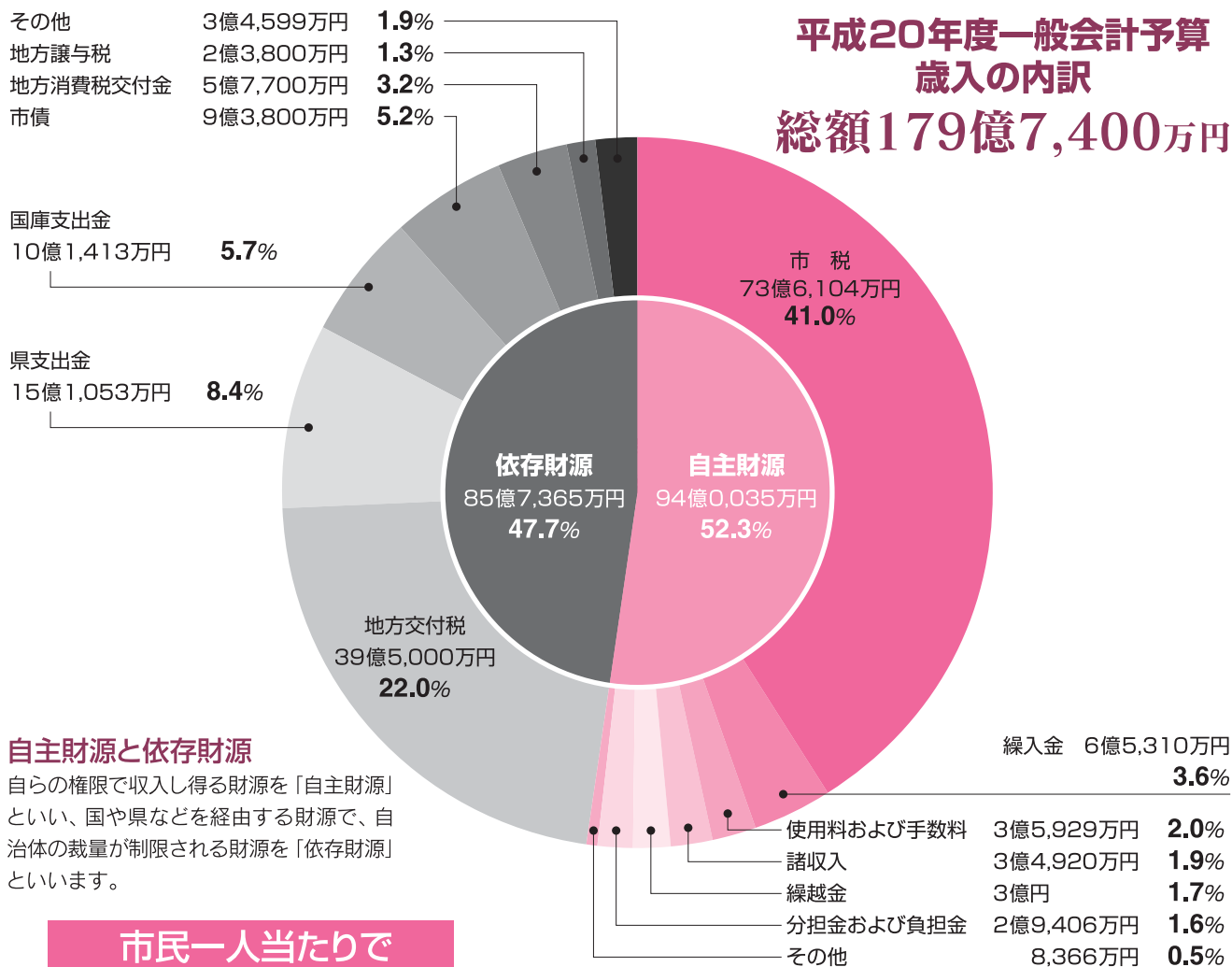
平成20年度当初予算（歳出）の会計別内訳と前年度との比較

| | 会計名 | 平成20年度当初 | 平成19年度当初 | 前年度比 |
|------|---------------------|--------------|--------------|--------|
| 一般会計 | 民生費 | 54億 2,900万円 | 54億 0,587万円 | 0.4% |
| | 土木費 | 26億 7,010万円 | 29億 6,178万円 | △ 9.8% |
| | 衛生費 | 20億 5,968万円 | 18億 9,082万円 | 8.9% |
| | 公債費 | 19億 5,171万円 | 18億 7,368万円 | 4.2% |
| | 教育費 | 19億 0,443万円 | 18億 6,064万円 | 2.4% |
| | 総務費 | 17億 5,458万円 | 19億 3,208万円 | △ 9.2% |
| | 消防費 | 9億 7,903万円 | 6億 9,888万円 | 40.1% |
| | その他 | 12億 2,547万円 | 12億 2,025万円 | 0.4% |
| | 計 | 179億 7,400万円 | 178億 4,400万円 | 0.7% |
| 特別会計 | 曾木地区市有林管理 | 99万円 | 99万円 | 0.0% |
| | 下水道事業 | 43億 8,721万円 | 32億 0,190万円 | 37.0% |
| | 交通災害共済 | 1,745万円 | 1,750万円 | △ 0.3% |
| | 国民健康保険 | 58億 9,480万円 | 63億 4,426万円 | △ 7.1% |
| | 自動車駐車場事業 | 7,090万円 | 7,412万円 | △ 4.3% |
| | 老人保健 | 5億 4,259万円 | 57億 8,045万円 | △90.6% |
| | 介護保険 | 36億 1,004万円 | 34億 7,997万円 | 3.7% |
| | 農業集落排水事業 | 2,972万円 | 1億 1,252万円 | △73.6% |
| | 土岐市・瑞浪市介護認定審査会 | 4,495万円 | 4,592万円 | △ 2.1% |
| | 土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会 | 564万円 | 599万円 | △ 5.9% |
| | 後期高齢者医療保険 | 10億 2,184万円 | — | — |
| 計 | 156億 2,613万円 | 190億 6,362万円 | △18.0% | |
| 企業会計 | 病院事業 | 77億 8,325万円 | 81億 6,736万円 | △ 4.7% |
| | 水道事業 | 29億 4,498万円 | 24億 3,948万円 | 20.7% |
| | 計 | 107億 2,823万円 | 106億 0,684万円 | 1.1% |
| | 合計 | 443億 2,836万円 | 475億 1,446万円 | △ 6.7% |

※端数処理の関係上、一部数字が合わない場合があります。



平成20年度一般会計予算 歳入の内訳 総額179億7,400万円



自主財源と依存財源

自らの権限で収入し得る財源を「自主財源」といい、国や県などを経由する財源で、自治体の裁量が制限される財源を「依存財源」といいます。

市民一人当たりで
計算すると…

(2月末日現在人口 63,342人で計算)

市税負担額

| | |
|-------------------------|-----------------|
| 固定資産税 48,909円 | 都市計画税 7,926円 |
| 市民税 (個人分) 42,604円 | たばこ税 5,021円 |
| 市民税 (法人分) 9,764円 | 軽自動車税 1,750円 |
| その他 237円 | |
| 合計 116,211円 | |

使われる一般会計予算

| | |
|----------------|----------------|
| 民生費 85,709円 | 公債費 30,812円 |
| 土木費 42,154円 | 教育費 30,066円 |
| 衛生費 32,517円 | 総務費 27,700円 |
| その他 34,803円 | |
| 合計 283,761円 | |

※端数処理の関係上、一部数字が合わない場合もあります。

今年度はこんな街づくりをします

～主な事業～

児童福祉の充実と子育て支援

土岐津・肥田小学校でも試行します。

通院時医療費の助成

中学3年生までの通院時医療費の助成を行います。これにより、既に行っている入院時医療費の助成と合わせて、医療費の保険適用分の自己負担分が義務教育終了まで無料となります。

放課後教室

泉・泉西・妻木・駄知小学校で試行の放課後教室を

園児の安全確保対策

自動体外式除細動器(AED)の設置

市内すべての公立保育園に自動体外式除細動器(AED)を設置します。



自動体外式除細動器(AED)

美濃焼産業の振興

美濃焼デザイン振興事業

幅広く美濃焼の情報提供をするための専用ホームページを開設するなど、「美濃焼・TOKI」ブランドの確立を目指します。

資金融資保証料の助成

大型倒産による関連倒産防止や、円高・石油製品の上昇など経済変動対策としての資金融資保証料の助成

街

を行います。

観光拠点・道の駅の充実

どんぶり会館開館10周年記念事業の実施や志野織部の修景整備を行います。



道の駅 どんぶり会館

道の駅 志野・織部



企業誘致対策

企業立地推進室を設置

企業誘致を積極的に推進するため、経済環境部に企業立地推進室を設置します。

五斗蒔PA スマートIC化

企業進出を円滑にするため、五斗蒔パーキングエリアのスマートインターチェンジ化を促進するための社会実験に向けた準備を進めます。



中心市街地の整備

「新土岐津線」 整備事業

駅前交差点から西踏切交
差点までの整備を、県に先
行して進めます。

中央本線西踏切 改良事業

踏切南側の道路改良工事
などを行います。



中央本線西踏切南側

防災対策

橋梁の整備

三共橋、弓取橋、森前橋
の耐震補強工事を行います。



三共橋

地滑り対策

県施工の下石町山神地区
の地すべり対策工事に合わ
せて、下石川支流の改修工
事を行います。

防災行政無線の更新

災害時の連絡体制の充実
強化として、防災行政無線
の更新を行い、市民への連
絡体制を充実させます。

一般木造住宅の 耐震化

耐震診断費を無料とし、
住宅の耐震化を促進します。

消防団活動の充実

消防団中核拠点 施設整備

消防団活動の活性化と地
域住民との連携を図るため、
下石分団の中核拠点施設を
建設します。

消防用車両の更新

消防団活動に必要な機材
の充実を図るため、駄知分
団に配備する消防ポンプ自
動車1台を購入します。



消防ポンプ自動車

水道事業

休止制度の導入

水道を一時的に使用しな
い場合、廃止をしないで使
用を休止することができ
る制度を導入します。

道路の整備

永久橋の取り付け 道路拡幅

新土岐津線に接続の永久
橋取り付け道路を拡幅し、
交互通行が可能な道路とし
ます。



永久橋取り付け道路

通学路の整備

文化会館から泉西小学校
への市道改良を進めます。